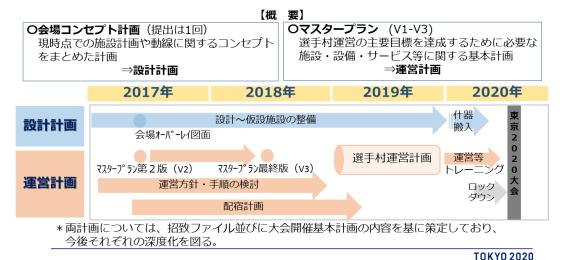
平成29年4月5日 オリンピック・パラリンピック 推進対策特別委員会

選手村のマスタープラン等について

(東京2020組織委員会作成)



機能

利便性 ・ 効率性	○ダイニングホールやレクリエーション施設等は選手村の中心に配置する。 ○居住者センターとNOC/NPCオフィスは宿泊棟内に効果的に配置する。
安心・安全	○監視システムや無許可の侵入者対策により高いセキュリティーを確保する。 ○選手村に入場する人、搬入される物品は全て、空港並みの検査体制を通る。
周辺・居住環境	○宿泊棟は景色や周辺の緑環境や水辺空間を楽しめるように設計する。
アクセシビリティ	○誰もが使いやすいユニバーサルデザインに基づいて設計する。
持続可能性	○持続可能性に配慮した運営計画(策定中)に基づいた環境対策を行う。

TOKYO 2020

ミッション・目標

ミッション	○選手がベストを目指し、集中力を高めていけるよう、選手団を 温かく迎え入れ、機能的な選手村を提供する。○選手団が、大会時及び大会後も続く社会的な交流を深められるよう、 リラックスできる雰囲気とプログラムを提供する。						
目標・	居 住 安全性、快適性、 アクセシビリティ	レガシー 大会後の施設有効活用		パラリンピック パラリンピック競技大 のスムーズな移行			
成功要因	文化 多様な日本文化、おも にふれる機会	5てなし	ダイバーシティ 多様性・調和に配慮				

配置

TOKYO 2020

選手村を大きく「**居住ゾーン」、「ビレッジプラザ」、「運営ゾーン」**に分けて配置を計画

「居住ゾーン」

①宿泊棟 ②ダイニングホール ③NOC/NPC サービスセンター

④ポリクリニック ⑤スポーツコンプレックス ⑥レクリエーション

「ビレッジプラザ」

⑦ビレッジプラ**ザ**

「運営ゾーン」

- ⑧ウェルカムセンター ⑨設備サービスセンター
- ⑩NOC/NPCパーキング ⑪メインエントランス
- ②輸送モール

T0KY0 2020